

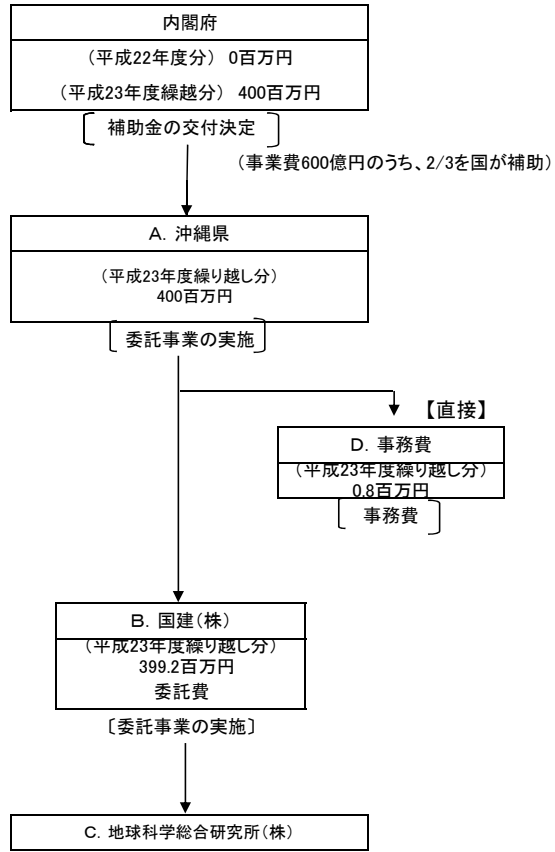
平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	沖縄天然ガス資源緊急開発調査事業		担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(補正予算)		担当課室	産業振興担当参事官室		参事官	能登 靖	
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>沖縄県は島嶼地域ゆえに化石燃料への依存割合が他県に比べて高いことや、化石燃料の世界的な需要増に伴う価格高騰や、供給不安、地球温暖化防止等の問題に早急に対応する必要がある。こうした状況を踏まえ、沖縄に存在すると見込まれる天然ガスを有効活用し、エネルギー自給率の向上を図ることを目的とする。</p>							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>エネルギー自給率が低い我が国において有力な地産エネルギーである天然ガス資源を有効活用することを目的として、沖縄本島中南部、宮古島において天然ガス資源開発調査を実施する。 天然ガス鉱床に関しては、南城市内において平成20年度に県補助で探査、平成21年度に国補助で試掘を実施し、新たな貯留層と熱分解ガスが確認されており、天然ガス資源として有効活用の可能性が拡大した。 調査内容は以下のとおりである。 ①コア試料分析(本島南部は、平成21年度までの実施試掘等の結果を踏まえ、宮古島は最近の温泉掘削・地表調査等に基づき実施) ②物理(地震)探鉱 ③地質解釈(地層資料分析、解釈) ④事業性評価・事業モデル構築(委員会での検討)</p> <p>補助率2/3</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	400	-	-	
		繰越し等	-	-	△400	400	-	
		計	-	-	0	400	-	
	執行額	-	-	0	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値
	天然ガスを有効活用することによるエネルギー自給率の向上、温泉・ガス活用による新たな観光資源の創出を想定。具体的には、当該天然ガスを有効活用した事業所(ホテル、スポーツ施設等)の建設により、「需要創出」及び「雇用創出」を見込んでいる。		需要創出	億円	-	-	0	17.9
			雇用創出	人	-	-	0	158
			達成度	%	-	-	0	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査側線(調査を行った長さを指す。)		活動実績(当初見込み)	m	-	-	0	252
					-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	1.6(百万円/m)		算出根拠	国費400(百万円)÷252(m) =1.6(百万円/m) (総事業費:600(百万円))				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度1次補正予算(ステップ2「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」)で予算措置された事業であり、平成23年度に繰越して実施しているところであるが、事業を実施するにあたり、沖縄県に対し効率化が図れるよう指導しているところである。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の効果を検証し、得られた成果を反映できるよう総合的な取組を図るべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につ いて記載する。 費目と使途の 双方で実情が 分かるように記 載)	A. 沖縄県			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	沖縄電力(株)への補助金	400			
	計		400	計		0
	B.国建(株)			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託料	天然ガス資源開発調査に要する経費	399.2			
計		399.2	計		0	
C.地球科学総合研究所(株)			G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.事務費			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事務費	事務等	0.8				
計		0.8	計		0	

支出先上位10者リスト

A.沖縄県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国建 (株)	天然ガス資源開発調査に要する経費	399.2	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					